

THE GREW BANCROFT FOUNDATION

c/o International House of Japan
11-16, Roppongi 5-chome
Minato-ku, Tokyo 106-0032
Tel・Fax: (03)3408-6343

公益財団法人 グルー・バンクロフト基金
106-0032 東京都港区六本木 5丁目 11-16
国際文化会館内
電話・Fax: (03)3408-6343

進路指導担当教官殿

公益財団法人グループ・バンクロフト基金の業務執行理事前田と申します。当基金では戦前から今日まで90年に渡り、日本の高校卒業生をアメリカの大学へ派遣し学位取得までの4年間で給付型奨学金で支援してまいりました。今年度の募集要項を先日ホームページにて掲載いたしました。是非とも生徒の皆さんにお知らせいただくよう郵送させていただきました。

募集要項のオンライン説明会を7月4日(日)10時より行います。参加申し込みはホームページのNEWSをご覧ください。保護者・教員の方々の参加も受け付けます。定員がありますのでお早めに申し込みください。

2021年6月

公益財団法人グループ・バンクロフト基金
業務執行理事 前田正吾

公益財団法人 グルー・バンクロフト基金
〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16 国際文化会館内
電話・ファックス (03) 3408-6343
E-mail: office@grew-bancroft.or.jp
ホームページ <http://www.grew-bancroft.or.jp/>

グルー・バンクロフト基金奨学生募集

2022 年夏出発の奨学生を募集します

グルー・バンクロフト基金奨学金による4年間の留学によって得られるもの

- ・ 激動する現代社会に対応できる基礎能力を身に付けることができるでしょう。
- ・ 知性と人格が磨かれ、社会で有用な役を担う自信をつけることができるでしょう。
- ・ 日本という国に誇りを持つと同時に、異文化理解に関心を持つようになるでしょう。
- ・ 国際交流に貢献するための才能が培われることになるでしょう。

グルー・バンクロフト基金奨学金とは

- ・ 当基金は、日米相互理解に尽くした戦前の二人の駐日米国大使の名を冠し、日本と国際社会にとって有益な人材を育成するとともに、日米両国の良好な関係を維持推進することを目的とした公益財団法人です。
- ・ 当基金は毎年、日本の高校卒業生に奨学金を支給し、4年間アメリカ各地にある一流のリベラルアーツ・カレッジを中心に、アメリカの大学へ留学することを支援します。少数の学生を対象に、留学先の大学が支給する奨学金への応募と取得のための支援も行います。当基金の奨学金は返済の義務はありません。
- ・ リベラルアーツ・カレッジとは、学生数2,000人程度の学部教育を主体とした大学です。学生は少人数制のクラスで、密度の高い授業により、自然、人文、社会科学各分野の幅広い分野の学問を学び、質の高い知的訓練を受けることができます。また寮生活を通して、アメリカだけでなく他の国からの学生とも交流を持つことで、国際人にふさわしい人格が形成されます。
- ・ 当基金でいうリベラルアーツ・カレッジは、カーネギー教育振興財団編「カーネギー大学分類」の“Baccalaureate Colleges: Arts & Sciences Focus”に含まれる大学です。
(<http://carnegieclassifications.iu.edu/lookup/standard.php> で “Basic Classification” を選択 [ダブルクリック] 後、“Baccalaureate Colleges: Arts & Sciences Focus” を選択するとリストが表示されます。)
- ・ 最近の奨学生の留学先については、当基金ウェブサイトの「留学先大学一覧」をご覧ください。
(<http://grew-bancroft.or.jp/university.html>)

当基金からの奨学金及び大学からの奨学金取得の支援概要

【奨学金1】リベラル・アーツ限定枠（2名）

米国のリベラルアーツ・カレッジに進学する者に対し、毎年5万米ドルを4年間支給。基金より志望校2校に推薦状を送付。（リサーチ大学は対象外）

【奨学金2】制限なし枠（1名）

米国の4年制大学（リサーチ大学などリベラルアーツ・カレッジ以外への進学も可）に進学する者に対し、毎年5万米ドルを4年間支給。基金より志望校2校に推薦状を送付。

【提携校への推薦】（8名）

奨学金1に応募頂いた方の中から、下記の提携校の奨学金に推薦します。

No	大学名	概要	募集人数
1	Carleton College	第一志望者に対し授業料全額免除へ推薦。基金より毎年1万米ドルを4年間支給。	1
2	DePauw University	第一志望者に対し授業料全額免除へ推薦	1
3	Grinnell College	第一志望者に対し授業料全額免除へ推薦 （ご家庭の経済事情によっては全額免除にならない場合があります）	1
4	Union College	第一志望者に対し授業料全額免除へ推薦	1
5	Knox College	第一志望者に対し大学からの授業料一部免除（3万5千米ドル以上）へ推薦。基金より毎年1万米ドルを4年間支給。	1
6	Lake Forest College	第一志望者に対し大学からの授業料一部免除（2万5千米ドル以上）へ推薦。基金より毎年1万米ドルを4年間支給。	1
7	Earlham College	第一志望者に対し大学からの授業料一部免除（70%以上免除）へ推薦。基金より毎年1万米ドルを4年間支給。	1
8	Mount Holyoke College	第一志望者に対し大学からの授業料一部免除（2万5千米ドル以上）へ推薦	1

注意事項

- 1) 上記提携校枠は、当基金と各大学との取決めに基づく推薦です。当基金奨学金取得予定者及び大学からの授業料免除について当基金の推薦を受けられる方は、いずれの場合も留学先大学への願書の作成と提出をご自身で行っていただきます。願書の作成・提出にあたり、エッセイの指導や基金からの推薦状送付などの支援を致します。多くの大学がTOEFL、IELTSなどの英語標準テストの成績を要求しますので、当基金への応募前からこれらの試験を受験することをお勧めします。

- 2) 奨学金1に応募者する方は、進学先がリベラルアーツ大学に限定されますので、リサーチ大学等のそれ以外の大学に進学を希望する方は奨学金2に応募して下さい。
- 3) 奨学金2に応募者する方は奨学金1、提携校卒の奨学金の選考対象とはなりません。奨学金2に応募する方は、願書に奨学金2に応募することを明記し、また追加的な小論文の提出が必要です。詳しくは「応募手続き」をご覧ください。
- 4) 留学先大学からの奨学金（授業料免除）、当基金からの奨学金及び他団体からの奨学金の合計金額が、予想される年間の授業料と生活費の合計を上回る場合には当基金の奨学金を減額する場合があります。
- 5) 応募後に内容を確認できる書類の提出を求める場合がございます。書類取得に時間が要するものもございますので、早めに準備をしていただけますようお願い致します。
- 6) 授業料全額免除の大学の場合、それ以外の大学に進学することはできませんが、一部免除の場合は、希望があれば、推薦する提携大学以外にも1校に限りその大学へ推薦状を送付します。ただし提携大学以外に進学の場合は、原則基金から1万ドルは支給されません。

留学中の保護者負担

当基金奨学生及び当基金の支援による留学生には、留学期間中、毎月1万円をご負担いただきます（毎年6月に1年分を一括請求）。これは留学生の支援のための経費に充当されます。

応募資格

1. 在学期間中を通じて日本国籍を有すること
2. 学校教育法による正規の高等学校第3学年に在学中で2022年6月までに卒業見込みの者 および応募時、上記高等学校を過去一年以内に卒業した者（高卒認定試験合格者を含む）。高等専門学校については応募時に3年生ないし4年生に限ります。
3. 上記以外の高等学校を2022年6月までに卒業見込みまたは1年以内に卒業した者については、学校教育法による正規の小・中・高等学校の課程を8年以上履修していれば応募資格を認める。但し、応募時にすでに米国の大学に入学しているもの又は合格し入学予定の者を除きます。
4. 本基金の趣旨を理解し賛同すること
5. 家計支持者の所得金額（父母共働きの場合は父母の合算額）が2千万円以下である者。（保護者同伴面談時に課税証明書を提出いただきます。）

2022年募集スケジュール

応募受付	2021年8月16日(月)～9月15日(水)
書類選考	2021年9月18日(土)～25日(土)
面接試験	2021年10月4日(日)
保護者同伴面談	2021年10月9日(土)あるいは10日(日)

応募手続き

応募者は期間内に募集専用ページから応募して下さい。(応募 Web サイトの URL は、応募受付開始時に当基金サイト上に公表します。) 募集専用サイトは、ユニバーサル・サポート・システムズのクラウド・ベースのシステムを使用する予定です。

2021年の応募の大まかな流れと必要情報・書類は以下の通りです。
なお、黒字で下線付きのものは全員必須です。

No	ステップ	必要情報・書類
1	募集サイトへの登録	<u>メールアドレス</u>
2	応募(募集サイトへのアップロード)	A. <u>学歴</u> B. <u>家族構成</u> C. <u>小論文</u> 「 <u>米国大学留学希望理由と将来の抱負</u> 」(800字以内) 奨学金2に応募する場合は加えて「 <u>進学希望大学とその理由</u> 」(400字以内) D. <u>英語能力試験(TOEFL, IELTS 又は Duolingo)スコアのコピー</u>
3	推薦状・調査書の送付(電子メール)	A. <u>調査書</u> (日本の大学入学者選抜のための書式と同じ) B. <u>推薦状2通</u> <u>担任教員より1通</u> <u>応募者を良く知る人【親族を除く】から1通</u>

なお、小論文、推薦状、学歴、家族構成を記入するためのフォーマットは当基金サイトの募集要項ページにありますので、ダウンロードして下さい。

推薦状・調査書の送付

推薦状・調査書は、学校及び推薦者の方から当基金宛に電子メールで直接送って頂きます。当基金募集要項ページから推薦状フォーマットをダウンロードし、ご自身の受験番号、当基金メールアドレス (office@grew-bancroft.or.jp) と一緒に学校の担当の先生及び推薦者の方に渡して下さい。受験番号は、募集サイトで応募頂き、受験料を入金頂くと、入金確認のメールと一緒に届きます。

調査書は各学校のフォーマットを電子ファイルのまま（紙のみの場合は、スキャンしてそのイメージ又はPDFファイル）当基金メールアドレスに送って貰うよう学校の担当の先生にお伝え下さい。メールには、応募者の方の名前と受験番号を忘れずに記入して貰って下さい。メールには、応募者の方の名前と受験番号を忘れずに記入して貰って下さい。

全ての書類が9月15日必着です。

募集要項説明会

7月4日に募集要項に関する説明会をオンラインで実施します。また提携大学に関して、現役学生に紹介してもらう予定です。

書類選考

上記募集専用サイトで入力及びアップロードして頂いた内容を、当基金の選考委員が精査し、結果をメールにて応募頂いた方々にご連絡します。

面接試験

書類選考に合格された方には、奨学金1・奨学金2とも、通常、国際文化会館にお越し頂き、当基金卒業生を中心とする面接担当者数名との面接試験を受けて頂きます。海外在住で来日が困難な場合は、オンラインで行います。またパンデミックの状況によりすべての面接をオンラインで行うこともあり得ます。当基金事務局からメールにてご連絡差し上げます。

保護者同伴面談

面接試験に合格された方は、10月9日（土）あるいは10日（日）に保護者同伴面談を実施させていただきます。こちらも通常は原則国際文化会館にお越し頂きますが、パンデミックやご家庭の事情で来館が困難な場合は、オンラインで実施します。

費用

応募手数料 1万円（クレジットカード決済、電子決済、コンビニ決済、ペイジー決済）。なお、手数料が660円となります。

お問い合わせ先

応募に関するご質問は、以下にお願いします。但し、電話での受付は、原則火曜日、木曜日、金曜日の午前10時から午後4時までになります。それ以外の時間帯は、メールにてお問い合わせ頂くよう、お願い致します。

公益財団法人 グルー・バンクロフト基金
〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16 国際文化会館内
電話・ファックス (03) 3408-6343
E-mail: office@grew-bancroft.or.jp
ホームページ <http://www.grew-bancroft.or.jp/>